

施設の自己紹介

【館名】 東京都写真美術館

【施設の概要】

東京都写真美術館は、1990年6月の一次開館を経て、1995年1月21日に総合開館し、昨年、10周年を迎えました。水と緑に囲まれた複合商業施設・恵比寿ガーデンプレイス内の一角に位置し、オフィス、ホテル、デパートにも近く、ファッションやアートに興味のある熱心な観覧者の方々に支えられています。

館内では、写真と映像文化のセンターとしての役割を果たす新たなステージとして、多彩な展覧会を開催しています。

日本や世界の写真史に残る貴重な作品や芸術的に優れた作品を、独自の視点や蓄積された研究を通じて展示しております。日本人作家の作品が収蔵作品（約23,000点）の70%を占めるということも当館の大きな特徴といえるでしょう。

作品鑑賞だけではなく、参加型のワークショップや小・中・高対象のスクール・プログラムも行っています。これらの教育普及事業では、写真や映像で表現できるものを楽しみながら学び、発見する場として、年齢を問わず、多くの方に活用していただいております。

さらに、当館には、国内唯一の写真・映像に関する保存科学研究室が設置されており、収蔵品を中心とした写真・映像に関する科学調査を継続的に実施してきました。外部研究機関と提携し、幅広い分野での研究データを提示し、日本の保存科学界に情報を提供しています。具体的には収蔵作品に対する経年的な劣化調査を基本とし、保存対策を講ずると同時に、継続的なデータ収集を基に全国に情報を発信しているのです。

近年の特筆すべき事例としては、平成15年11月、写真と絵画の展覧会「土（さむらい）—日本のダンディズム」展を開催した際に、この保存科学研究室が果たした役割があげられます。この展覧会には、コロジオン湿板方式による写真、高知県立歴史民俗資料館所蔵「坂本龍



馬像」が11月15日のみ出品、展示されましたが、この機会に初めて、当館の保存科学研究室によって、専門的な科学調査がなされたのです。

この調査報告については、当館紀要No.4に詳しく記載されています。

また、高知県立歴史民俗資料館でも記者会見を行い、高い評価をいただきました。

【特色ある取組】

東京都写真美術館は、運営面でも他館に誇れるものがあります。それは、約180社を超える賛助会員制度に支えられていることです。バブル期以降、東京都の予算が減少し、企画展や作品収集の予算が削られ、入場者数も16～19万人台を低迷するなど危機的状況に陥りました。こうした中、2000年11月、(株)資生堂会長(当時)福原義春氏が第4代館長に就任し、様々な改革に着手しました。※グラフ参照【最終頁】

その一つとして、多くの企業・団体・市民から支援される「地域に支えられる美術館」運営を行うため、賛助会員制度を設けました。

個人を対象とした「友の会」は、全国の美術館で数多く見られますが、当館独自の「維持会員」は、企業・団体等を対象に財政的な支援と社会的貢献を目的とし、年会費は一口30万円です。

発足以来5年を経て、182法人208口(18年11月現在)を数えるまでになりました。現在、この維持会費を中心とした協賛金等により、貴重な作品の購入や、年間7～8本もの自主企画展を開催しております。

こうして、2000年度以降、入場者数は毎年、記録を更新し、2005年度は44万人を越えています。

2006年度のコンセプトは「判りやすく説明する美術館」です。

これは、運営の基本コンセプトとして、写真美術館の事業内容を判りやすく来館者に説明していこうとするものです。

具体的には、展覧会では、キャプションをはじめとする展示解説を簡潔にして要領を得たものとすることや、来館者に対し積極的に室温の設定や照度に関する説明等を判りやすく伝えていくこともあげられます。また、美術館の現況や考え方について、利用者・ボランティア・維持会員・友の会員等に対し、それぞれ関連する事項について、説明責任を果たすよう努めることも重要なことといえます。

写真が氾濫する現在。だからこそ、より深く写真に親しみ、そこから感じるものが、生活に新たな豊かさを与えてくれるとすれば、なんと素敵なことでしょう。

東京都写真美術館はこうした喜びを体感できる美術館をめざし、今後も写真・映像文化の向上に力を入れてまいります

※詳細に関しては、東京都写真美術館HP → <http://www.syabi.com/>

	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
都予算	20.4	18.5	16.5	13.3	11.6	8.7	8.1	7.9	7.3	6.9	6.5	6.7
振興会計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.5	0.5	0.8	1.4	1.5
観覧者数	19.6	16.9	15.3	19.3	18.0	21.9	22.7	36.4	41.3	43.2	44.1	

東京都写真美術館の取り組み

単位：人

